

第4章 健康課題の明確化と目的・目標

1. 分析結果に基づく課題

(1) 分野別の課題

死亡の状況	主要死因のうち悪性新生物の占める割合が多い
医療費分析	1人あたり医療費が高く、特に入院に係る医療費が高い
	入院については、精神疾患による医療費が多い
	外来については、内分泌、栄養及び代謝、循環器系、新生物による医療費が多い
	歯科については、受診率が低い一方で、1件あたり日数、1日あたり診療費が高い
レセプト分析	腎不全（人工透析）の要因である高血圧や糖尿病の対策が必要 大腸がんについて、40歳代の男性の総点数、レセプト件数・点数が高い
	人工透析患者では、高血圧の有病割合が若い世代から高く、また、高尿酸血症が男性の40歳代からみられる
介護との関連	軽度認定は心臓病、筋骨格系疾患が多い 重度化に従い脳疾患・精神疾患の有病割合が高い
健(検)診データの分析	特定健康診査の受診率が低い
	非肥満高血糖の割合が高い
	治療中でコントロール不良の者が一定程度存在する
	生活習慣では、夕食後の間食、早食い、一日飲酒量が多く、喫煙率が高い
	各種がん検診の受診率が低い

2. 第2期計画における短期、中・長期的目標

(1) 短期目標

健(検)診・精密検査受診率の向上

健(検)診結果・生活習慣の改善

第3章における様々な視点からの分析により浮き彫りとなった課題を踏まえ、「健(検)診・精密検査受診率の向上」と「健(検)診結果・生活習慣の改善」を短期目標に設定します。短期目標とは、原則として年度ごとに達成状況の確認・把握が可能であり、中・長期的目標を達成するための礎となる目標です。具体的な保健事業の内容や評価指標等の詳細は次章のとおりです。

(2) 中・長期的目標

糖尿病治療継続者割合の増加

高血圧有病者の割合の改善（Ⅰ度高血圧以上※）

糖尿病が強く疑われる者の割合の改善（HbA1c 6.5%以上）

中・長期的目標とは、計画期間の最終年度である2023年度末までに達成を目指すものであり、各種保健事業の展開の結果、効果として糖尿病予防や重症化防止に結びついているかを確認するための指標です。

短期及び中・長期的目標を念頭に置いた保健事業を実施していくことで、健康増進計画「第2次健康づくり伊達21」の基本理念である「市民一人ひとりが、主体的に健康づくりに取り組むとともに、地域全体で健康づくりをすすめる環境を整えることにより、健康寿命を延伸し、元気で活力あるまちづくり」を目指します。

※Ⅰ度高血圧；

収縮期血圧が140～159 かつ(または)拡張期血圧が90～99